

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：特別支援教育課  
 担当名：教育環境整備推進担当  
 内線：6883 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B53	障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 学校教育法、学校教育の情報化の推進に関する法律第二十一			宣言項目	06 次代を担う人財育成	SDGsゴール	4
						分野施策	030622 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-5, 4-a
1 事業概要			5 事業説明						
障害から生じる課題や困難さを改善・克服し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、全ての県立特別支援学校における障害特性に応じたICT環境の整備などを行う。 (1) 障害の特性に応じたICT環境の整備 126,270千円 (2) 障害特性に応じたICT活用ができる人材の育成 11,868千円 (3) 授業目的公衆送信補償金の納付 1,059千円			(1) 事業内容 超スマート社会で生き抜く力を育む特別支援学校における障害特性に応じたICT環境整備 139,197千円 (2) 事業計画 ア 障害の特性に応じたICT環境の整備 (ア) 学習用タブレット端末の整備 (イ) 指導者用タブレット端末の整備 (ウ) 無線LAN環境の整備 (エ) 大型提示装置(超短焦点プロジェクター)の整備 (オ) タブレット端末用アプリなど、障害の特性に応じたICT機器等の整備 イ 障害特性に応じたICT活用ができる人材の育成 (イ) ICT支援員の活用 (ロ) ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の研究・普及 ウ 授業目的公衆送信補償金の納付 (ウ) 授業において著作物をインターネット経由で自由に活用 (3) 事業効果 ア 子供たち一人一人の障害の特性に応じたICT機器の活用が、子供たちの「わかる・できる」を増やし、教育活動への主体的な参加を促す。 イ 子供たちが自らICT機器を活用できるようになることで、障害から生じる困難さを改善・克服し、自立と社会参加の実現を促す。 ウ 全県立特別支援学校へ整備することにより、学校間の格差を無くし、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現できるようになる。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 国のモデル研究 (ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実) に係る分 (国10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方交付税 (単位費用) (区分) 特別支援学校費 (細目) 学級経費 (細節) 学級経費 (積算内容) 教育用コンピュータ整備費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	139,197	国庫支出金	3,095					136,102	66,489
前年額	72,708		1,800					70,908	